

平成31年度横浜市みどり保全創造事業費会計予算

平成31年度横浜市のみどり保全創造事業費会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ12,565,288千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(市債)

第2条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる市債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表 市債」による。

平成31年2月8日提出

横浜市長 林 文 子

第1表 歳入歳出予算

歳 入

款	項	金 額
1 使用料及び手数料		千円 1,247
	1 使用料	1,247
2 国庫支出金		1,988,640
	1 国庫補助金	1,988,640
3 県支出金		145
	1 県委託金	145
4 財産収入		1,000
	1 財産運用収入	1,000
5 寄附金		1
	1 寄附金	1
6 繰入金		6,000,246
	1 一般会計繰入金	3,152,273
	2 基金繰入金	2,847,973
7 諸収入		9,009
	1 雑収入	9,009
8 市債		4,565,000
	1 市債	4,565,000
歳 入 合 計		12,565,288

歳 出

款	項	金 額
1 みどり保全創造事業費		12,565,288 <small>千円</small>
	1 みどり保全創造事業費	6,018,553
	2 みどり保全事業費	4,960,307
	3 基金積立金	1,000
	4 公債費	1,584,428
	5 予備費	1,000
歳 出 合 計		12,565,288

第2表 市 債

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
樹林地保全創造費	1,749,000 ^{千円}	市債証券の発行または普通貸借の方法による。起債の時期は平成31会計年度。ただし、その全部または一部を翌年度以後に繰り越し、起債することができる。	5.0%以内 ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率とする。	起債年度の翌年度から据置期間を含め、30年以内に償還する。ただし、本期間中、未償還額の範囲内において借り換えることができる。 公的資金を借り入れる場合は、その融通条件による。
都市農地保全費	329,000	同 上	同 上	同 上
緑化推進創造費	240,000	同 上	同 上	同 上
樹林地保全費	2,247,000	同 上	同 上	同 上
計	4,565,000			